

No	項目	Q	A
1	全社	第1四半期(以下、1Q)の業績の上期計画に対する進捗状況を教えてください	全社の営業利益が上期計画に対して61%の進捗となっているが、想定範囲内という認識をしている。 1Qに計画比で大きく伸びた事業は、油圧機器及び自動ドア。2事業とも1Qに季節性がある事業であるため、大きなサプライズではない。その他、事業別に変動はあるが、全社としては想定線。
2	全社	1Qにおける「全社または消去」の増加について、一過性コストは含まれているか？	外形標準課税の増加約9億円を一過性コストとして認識している。
3	全社	決算短信P7 金融費用が前年と比べ増加した要因を教えてください	株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ(以下、HDS)新株予約権取り崩し-25億円、HDS期末評価-64億円、為替差損+7億円
4	全社	HDS株式の期末評価損益は今後もでてるか？	株価の変動によるため、影響が出る可能性がある。
5	全社	棚卸資産が増えた理由は？	①コンポーネントソリューションセグメント(以下、CMP)の生産増加による増加 ②CMP事業で海上輸送の混乱をうけ、一部引き渡しが遅れたことによる増加(すでに解消済み) ③航空機器などで予想外の減産が発生したことによる増加。
6	全社	HDS株式売却後の顧客の反応は？	HDSとの協業解消や株式売却はしているが、当社が納入する製品に変更はないため、特に反応なし。
7	CMP	CMP受注が好調だが、先行発注は入っていないのか？ 2Q以降の見方を教えてください。	1Qで精密減速機は、自動車向けのロボット用途で伸びた。自動車向けは業界特性上、先行発注が起りにくいこと、実需に基づく発注とみている。 顧客の情報から考えると、2Q以降も好調が継続するとみている。
8	CMP	CMPの受注が好調だが、増産についての検討状況を教えてください。顧客からは希望能力レベルの打診もあるのか？	精密減速機 需要の伸びを考えると能力増強が必要になると考えているため、現在の需要状況を鑑み、どの程度能力を増強するか検討を行っている。お客さまに不安を与えないようにしたい。 油圧機器 中国市場の需要動向をみながら、能力の過不足を検討したい。精密減速機と異なり、今後の市場成長性については懐疑的なので、大きな能力増強にはならないと考えている。 生産能力に関して、顧客から直接どの程度増やしてほしいという要望はないが、生産計画等を聞きながら、当社としての必要数を判断している。
9	精密減速機	中国EV関連の需要が強いとのことだが、中国ローカルメーカーとの競合関係はどうか？	中国ローカルメーカーも積極的に活動しているが、一般産業向けが中心。 自動車分野ではあまり使われていないため、競合環境に変化はない。
10	精密減速機	米国の需要状況を教えてください。	昨年は設備投資の動きは鈍かったが、20年4Q頃から中国中心に需要が出始めた。21年に入ってから、北米も需要が出てきている。

11	精密減速機	精密減速機のBBレシオは？	1Qは単体で1.2
12	精密減速機	精密減速機の売上は上期の計画に対してかなり高い進捗だが、2Q以降も回復トレンドが続くのか？	精密減速機の1Qの需要は想定よりも高く、急激な回復が見られている。回復基調自体は継続するとは考えているが、どの程度になるのかは注視している。 当社としては、現在の水準での回復が続いたとしても対応できるよう能力を準備する。
13	精密減速機	精密減速機の稼働率について、2Qはどのくらいをみているのか。	規模の直接開示はない。 好調なトレンドが継続すれば、1Qの水準よりは増えるものとみている。
14	TRS	トランスポートソリューション事業の営業利益が伸びなかった理由はなにか。一過性要因の有無を含めて教えてほしい。	人の動きが制限されたこともあり、TRSがコロナの影響を一番うけている。 当初、今年度中ごろからの回復を想定していたが、現在のコロナの状況を鑑みると、日本では回復時期が遅くなる可能性がある。 営業利益は売上減少による減益であり、特殊要因はない。
15	OVALO	OVALOの進捗を教えてください	通期計画に対して順調に進捗
16	ACB	ACBは前年同期比減収、大幅増益の理由は？	非接触の補助金制度があり、3月までに駆け込み需要がはいった。駆け込み需要は交換需要(MRO)に含まれるので構成差で利益率が高かった。